

鷗朋会 第 47 回理事会議事録

日 時： 平成 20 年 2 月 1 日（金） 18:00 ～ 20:00

場 所： 大阪府教育会館「たかつガーデン」 3 階 ローズ

出席者（敬称略）：

定兼会長（大 15）、蔵野（造 1）、炭田（造 2）、片岡（大 2）、岡本（大 5）、大野（大 8）、城野（大 8）、増田（大 10）、岡田（大 12）、小幡（大 12）、杉山（大 12）、吉久（大 13）、西田（大 17）、池田（大 21）、三宅（大 30）、池田（大 35）、大塚（大 35）、有馬（大 37）、山田（大 37）、片山（大 41）、中谷（大 45）、桂樹（大 50） 以上 22 名

1. 開会

片山理事より開会が宣言された。

2. 会長挨拶

議事に先立って、定兼会長より山岡理事(大 7)の訃報と挨拶があった。

3. 議長選出

片山理事より池田副会長が議長に推薦され、満場一致で選出された。

4. 議事

(1) 報告事項

a) 平成 19 年度会計中間報告

山田会計担当理事より資料に基づいて平成 19 年度会計の中間報告があった。

〔修正箇所〕 役務費備考欄 *6 の小塚さんの単価 （誤） 4,750 → （正） 3,800

- ・ 同窓会会費の納入が年度末予想だと予算を下回る可能性がある
これまでの高い納入率が近年下がってきているため、60%を切る程度で予想
- ・ 年度内に行われる会誌発送時にもう少し見込めるので、当初の予定通りになると考えられる。
- ・ 事務費、印刷費は予算通りである。

b) 編集委員会報告

三宅編集委員長より資料に基づいて編集委員会の報告があった。

- ・ 「鷗朋」第 11 号を 10 月末に発行した。
- ・ 「鷗朋」第 12 号を 3 月末の年度内に発行する予定。特集案は「わがまち・わがふるさと自慢」山岡さんを偲んでの記事も載せる。
- ・ 編集委員の増員について、大学 44 期の新里様、大学 45 期の松山様が就任したこと。

報告後、各理事から以下のような提案があった。

- ・ WEB ページに「鷗朋」のコメントを寄せていただくような案内を出す。
- ・ 理事にコメントを寄せていただくようにする。
- ・ 各期の理事より、同窓生の方々の活躍を紹介していただき、できれば執筆もしてもらおう。テーマは自由。

c) 理事交代に関する件

定兼会長より、故山岡理事よりご存命中に推薦があったが、推薦された方の意思の確認が取れていないので、今回は審議しないことが報告された。

d) その他

大塚理事より、来年度からの教員組織について説明があった。

(2) 協議事項

a) 平成 20 年度会計予算に関する件

山田会計担当理事より資料に基づき平成 20 年度予算について提案があった。

〔修正箇所〕 支出小計	（誤） 1,548,000	→	（正） 1,545,200
次期繰越額	（誤） 385,544	→	（正） 398,344
役務費	（誤） 630,000	→	（正） 627,200

- ・ 近年の納入率の低下から、収入の予算を納入率 58%として計上する.
- ・ 振込み手数料が金融機関によってバラバラであり予算がたてにくい.
りそな銀行からだとも無料であることの案内が必要.

提案後、各理事から以下のような質問・ご意見があった.

- ・ 理事会を学内とたかつガーデンで 2 回行う理由は? → 経費節減のため
- ・ 収入の部の同窓会の会費見込みの計算において、昨年度の活会員数で見込んでおり、卒業し会員になる会員の増加を見込んでいない. 実質的に活会員数は増えていないためであるが、増やすような努力をするべき
→ 「鷓朋」とは別にお知らせの手紙を出すなどの対策をする.
郵送料の問題もあるので、費用対効果を考えて納入率が低い卒業期に絞ることや、滞納者リストを基に発送を行う.
滞納者リストを各期の理事に渡し、理事を通して督促してもらう.

協議の結果、平成 20 年度予算案は承認された。

b) 同窓会活動について

池田副会長から、大学側が大学 OB の活力・人脈を生かすために、同窓会活動を積極的に支援する方針であることが報告され、総会とは別に、年に 1 回程度同窓生が集まる催しを行ってはどうかという提案があり承認された。

増田征二前会長を名誉会員に推薦することが全会一致で承認された。(会則第 6 条ハ) 項)

5. 閉会

片山理事より閉会が宣言された。

以上